



u-DIEX (情報公開)
Web-EDI / Web-EDI Light!
利用設定手順
【JDK/JRE専用】

1.8版

2019年1月1日

株式会社トヨタシステムズ

更新履歴

NO	版数	更新日付	更新内容
1	1.0	2011/6/27	新規作成
2	1.1	2011/11/11	u-DIEX信頼済みサイト登録手順を修正(Internet Explorar 9用手順の追加)
3	1.2	2013/3/18	u-DIEXサービス紹介ページ移行に伴いURL修正
4	1.3	2014/4/25	推奨環境の整理に伴う修正
5	1.4	2014/9/15	ATSC/TSC信頼済みサイト登録手順を修正(ATSC新URL用手順の追加)
6	1.5	2014/12/3	u-DIEX Java設定ツール改修に伴い、手順を修正
7	1.6	2015/3/23	ATSC/TSC信頼済みサイト登録手順を修正(ATSC旧URL用手順の削除)
8	1.7	2018/4/9	一部画像を修正
9	1.8	2019/1/1	会社統合に伴う社名変更
10			

目次

1. はじめに	4
1. 1 目的	4
1. 2 注意点	4
1. 3 実施する設定作業	4
2. Javaのセキュリティ設定の変更	5
2. 1 自動で設定変更を行う	5
2. 2 手動で設定変更を行う	10
3. InternetExplorer設定変更 -「ATSC/TSC」を信頼済みサイトに登録-	12
4. InternetExplorer設定変更 -「u-DIEX」を信頼済みサイトに登録-	15

1.はじめに

1.1 目的

- ・ 本手順書はJDK/JREをインストールされたお客様が「Web-EDI」、「Web-EDI Light!」を利用するために必要な設定手順を記載しています。

※ 統合インストーラをご利用のお客様は、本手順を実施する必要がありません。

1.2 注意点

- ・ 本手順を実施するにあたり、お客様のPCにJDK/JRE[※]がインストールされていることが前提となります。
- ・ お客様のPC環境によって、画面等に差異がある場合がありますのでご了承ください。

※ JDK/JREとは、Oracle社が提供しているJavaの実行環境です。

1.3 実施する設定作業

- ・ 「Web-EDI」、「Web-EDI Light!」をご利用するにあたって、以下の設定作業を行う必要となります。

NO	設定作業	対象サービス	該当ページ
1	Javaのセキュリティ設定の変更	Web-EDI	P.5
2	InternetExplorerの設定変更 ～「ATSC/TSC」を信頼済みサイトに登録～	Web-EDI Web-EDI Light!	P.12
3	InternetExplorerの設定変更 ～「u-DIEX」を信頼済みサイトに登録～	Web-EDI Web-EDI Light!	P.15

2. Javaのセキュリティ設定の変更

- Web-EDIを利用するために、JDK/JRE のセキュリティ設定ファイルの編集をする必要があります。以下に、設定変更手順を示します。

※ **Web-EDI Light! を利用するお客様は、本手順を実施する必要はありません。**



注意事項

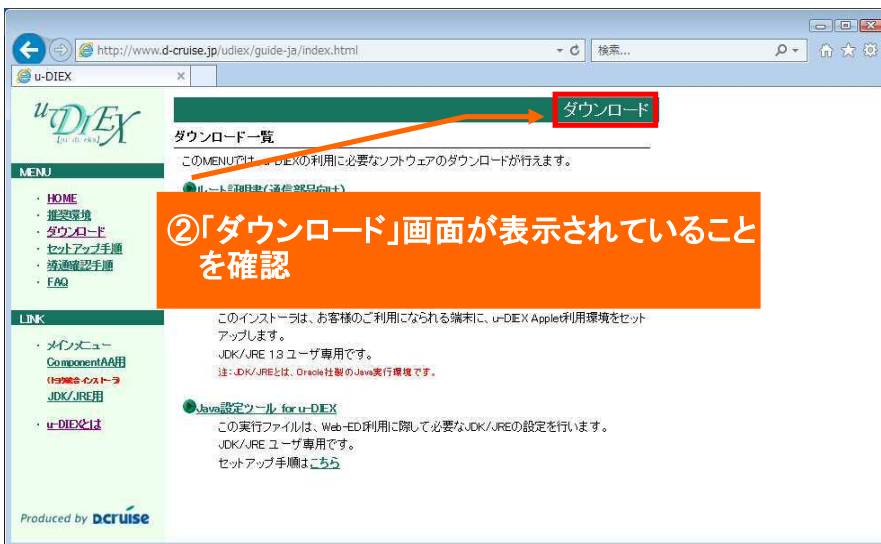
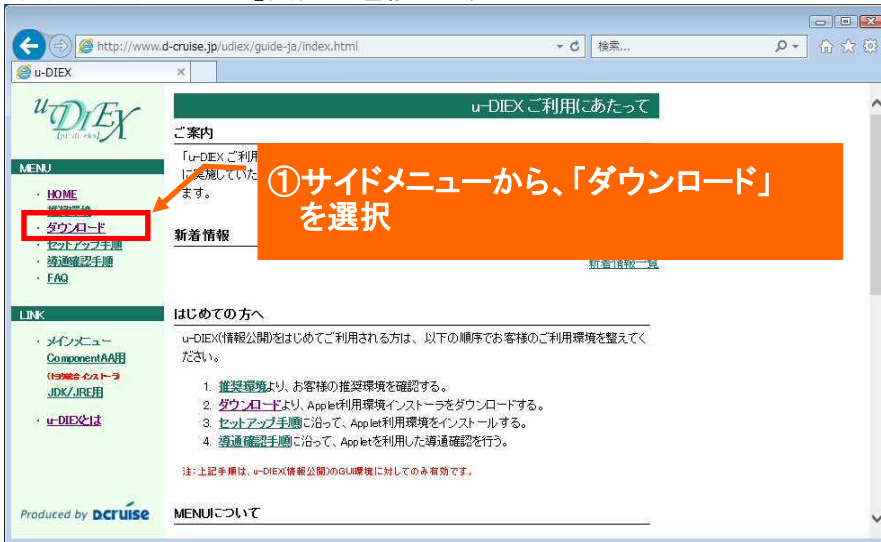
- 本手順は、Windows7/8/8.1ユーザー用となります。
- 本手順により、「java.policy」ファイルの編集を行います。
- 以下のどちらかに該当するお客様は、「2. 2 手動で設定変更を行う」を実施して下さい。
 - 「java.policy」ファイルの内容を既書き換えている
 - JDK/JRE のインストール先を任意の場所に指定している

2. 1 自動で設定変更を行う

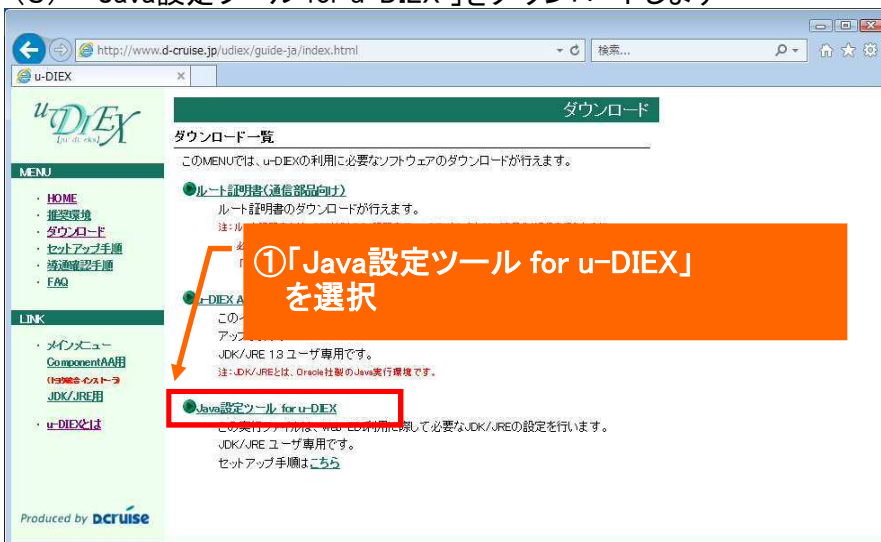
(1) 「http://www.d-cruise.jp/udiex/guide-ja/」に接続します

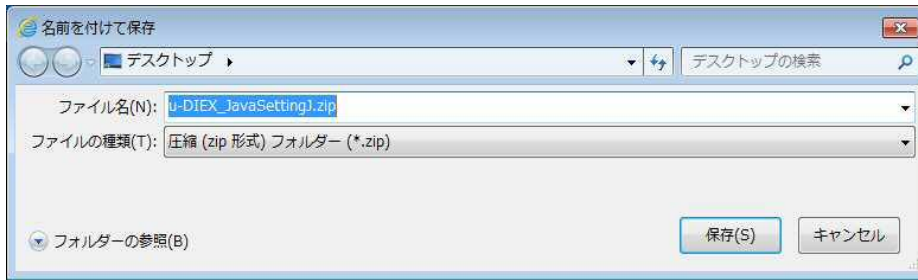


(2) 「ダウンロード」画面に遷移します



(3) 「Java設定ツール for u-DIEX」をダウンロードします





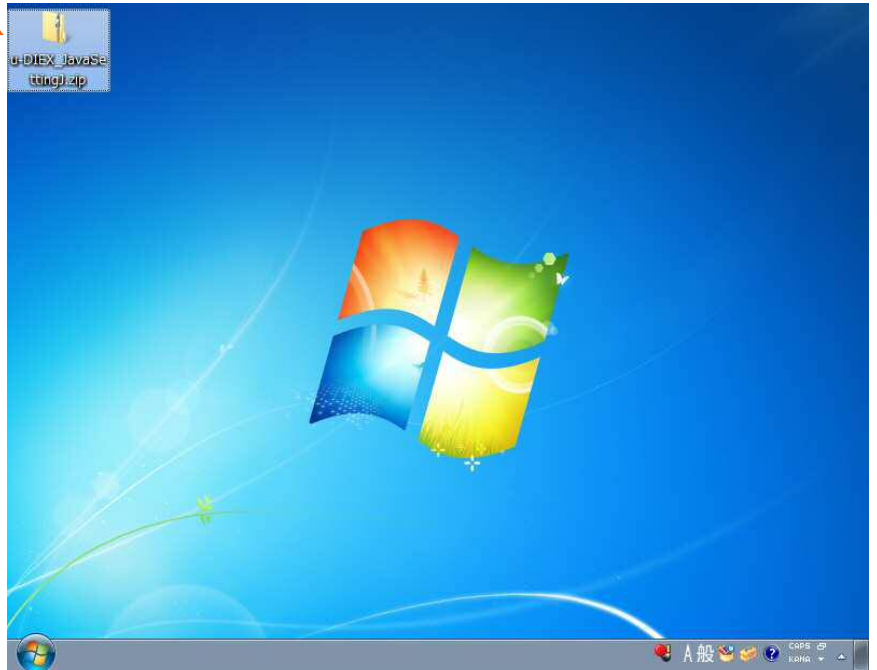
②「名前を付けて保存」画面が表示されていることを確認

③任意の保存先を選択

④ファイル名が「u-DIEX_JavaSettingJ.zip」であることを確認

⑤「保存」をクリック

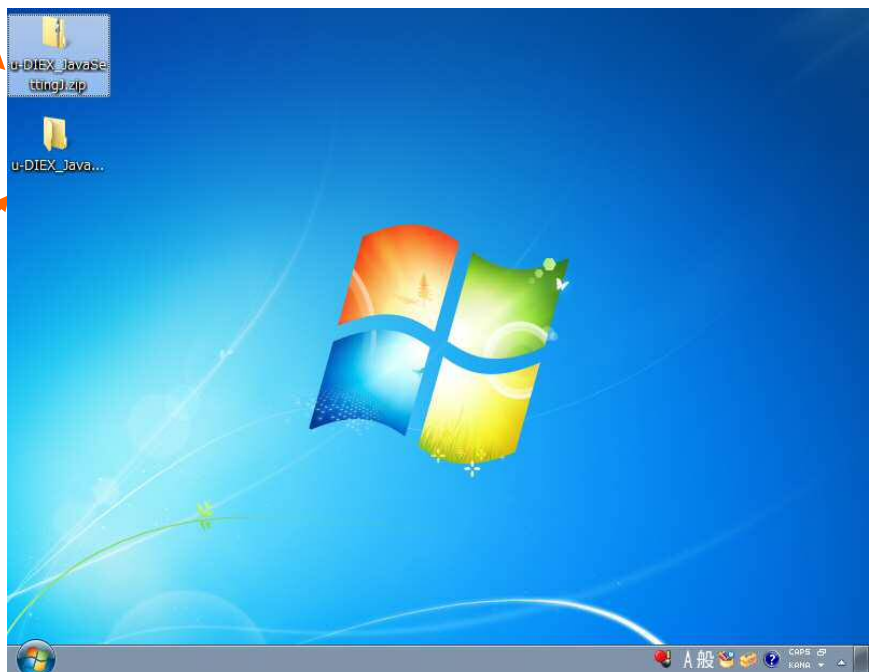
⑥③で指定した保存先に、「u-DIEX_JavaSettingJ.zip」が保存されていることを確認



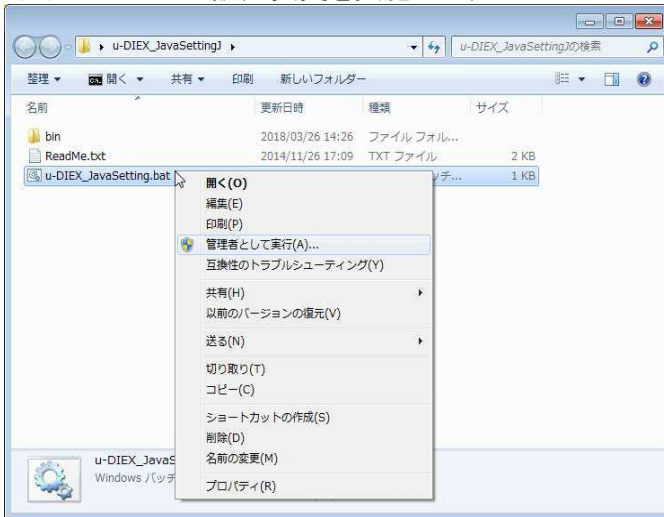
(4) zipファイルを解凍し、展開します。

①「u-DIEX_JavaSettingJ.zip」を解凍
※詳細な解凍の流れは解凍ソフトにより異なります

②解凍された「u-DIEX_JavaSettingJ」を開く
※解凍先は本手順ではデスクトップ



(5) JDK/JRE 設定変更を実施します



①「u-DIEX_JavaSetting.bat」を
右クリックし、「管理者として実行」を
クリック



注意事項

- ・ 実行ユーザーに管理者権限がない場合、以下のように管理者のパスワードを入力する画面が表示される場合があります。管理者にパスワードを確認し、入力をして下さい。



管理者パスワードを入力し、「はい」をクリック



②「はい」をクリック



③「設定が完了しました。」メッセージボックス
が表示されることを確認

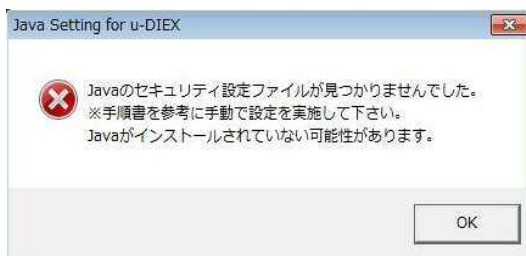


注意事項

- ・ 以下のようなメッセージボックスが表示された場合は、ツールを多重起動している可能性があります。設定は問題なく完了していますので、そのまま次の設定を行なって下さい。



- ・ 以下のようなメッセージボックスが表示された場合は、Javaをインストールしていない、もしくは、お客様が任意のディレクトリにJavaをインストールしています。Javaのインストールを行なうか、手動での設定(「2.2 手動で設定を行う」)を参考に手動で設定をお願い致します。



- ・ 以下のようなメッセージボックスが表示された場合は、「管理者として実行」していない可能性があります。再度、ツールを「管理者として実行」して下さい。



- ・ 本手順実施後に、Javaで動作するアプリが利用できなくなった場合は、「java.policy」をバックアップから戻して下さい。

【手順】

- ①「java.policy」格納先に移動します。
JDK/JREインストール時に、特に指定していなければ、以下の格納先となります。
【格納先】 C:\program files\[インストールしたJDK/JREのバージョン]\lib\security
※上記に格納されていない場合は、任意の格納先を指定していますので、御社システム担当者にご確認下さい。
- ②「java.policy」を削除
- ③「java.policy.u-diex_bak」を「java.policy」に名前を変更

以上で、作業は完了です。

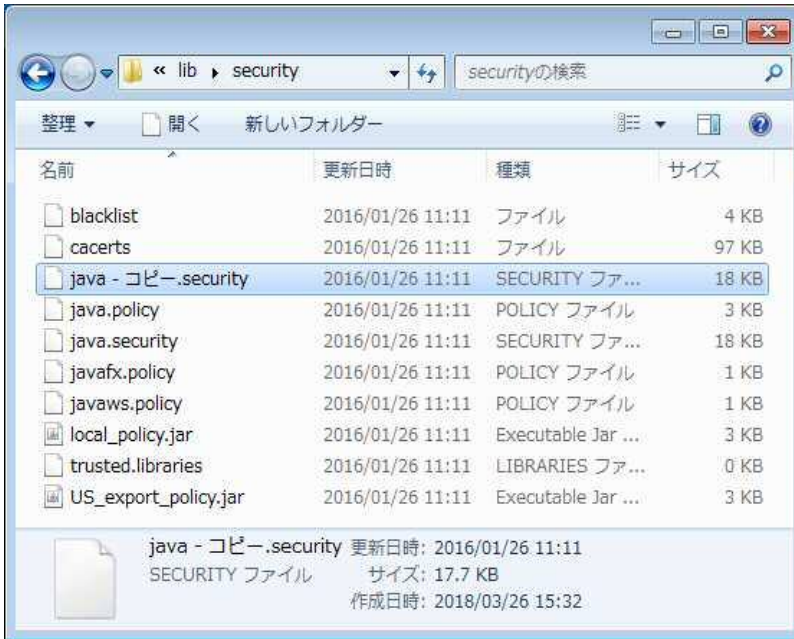
2. 2 手動で設定変更を行う

(1) 「java.policy」のバックアップを行います

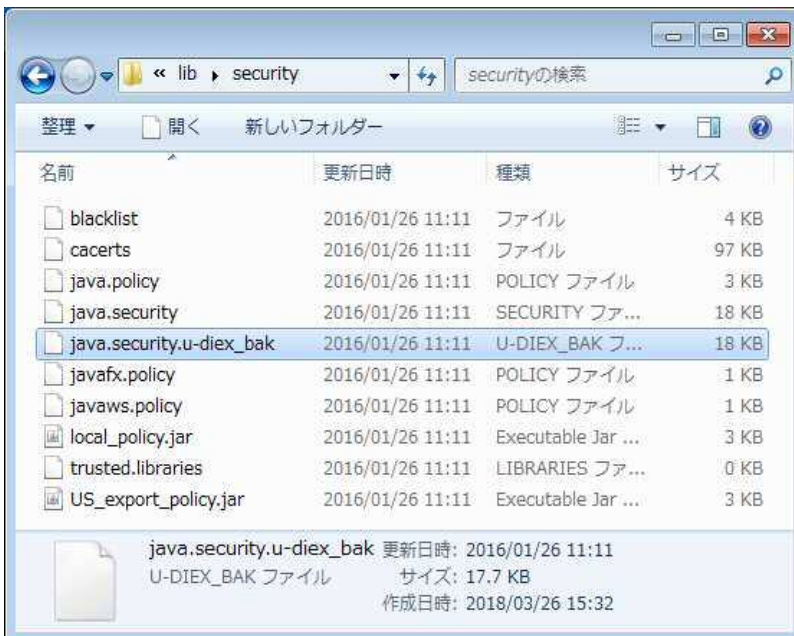
- 「java.policy」格納先に移動します。
JDK/JREインストール時に、特に指定していなければ以下の格納先となります。

【格納先】 C:\Program files¥[インストールしたJDK/JREのバージョン]¥lib¥security

※ 上記に格納されていない場合は、任意の格納先を指定していますので、
御社システム担当者にご確認下さい。



①「java.policy」をコピーする

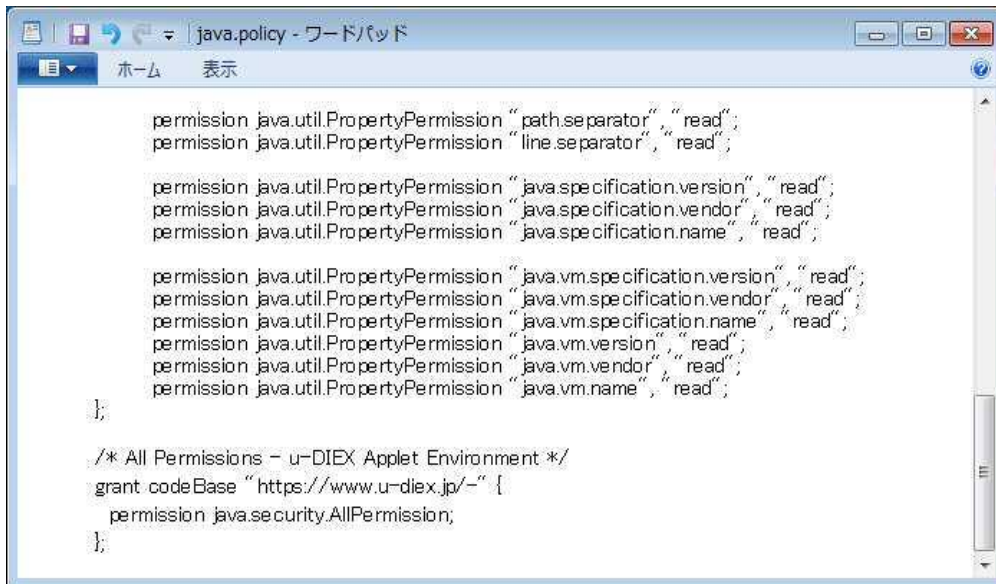


②「java.policy.u-diex_bak」に
名前を変更する

(2) 「java.policy」の編集を行います

- ・ 以下の内容を、「java.policy」の最終行に追記します

```
/* All Permissions - u-DIEX Applet Environment */  
grant codeBase "https://www.u-diex.jp/-" {  
    permission java.security.AllPermission;  
};
```



```
permission java.util.PropertyPermission "path.separator", "read";  
permission java.util.PropertyPermission "line.separator", "read";  
  
permission java.util.PropertyPermission "java.specification.version", "read";  
permission java.util.PropertyPermission "java.specification.vendor", "read";  
permission java.util.PropertyPermission "java.specification.name", "read";  
  
permission java.util.PropertyPermission "java.vm.specification.version", "read";  
permission java.util.PropertyPermission "java.vm.specification.vendor", "read";  
permission java.util.PropertyPermission "java.vm.specification.name", "read";  
permission java.util.PropertyPermission "java.vm.version", "read";  
permission java.util.PropertyPermission "java.vm.vendor", "read";  
permission java.util.PropertyPermission "java.vm.name", "read";  
  
};  
  
/* All Permissions - u-DIEX Applet Environment */  
grant codeBase "https://www.u-diex.jp/-" {  
    permission java.security.AllPermission;  
};
```

①「java.policy」の最終行に、

```
/* All Permissions - u-DIEX Applet Environment */  
grant codeBase "https://www.u-diex.jp/-" {  
    permission java.security.AllPermission;  
};
```

が記述されていることを確認



注意事項

- ・ 本手順実施後に、Javaで動作するアプリが利用できなくなった場合は、「java.policy」をバックアップから戻して下さい。

【手順】

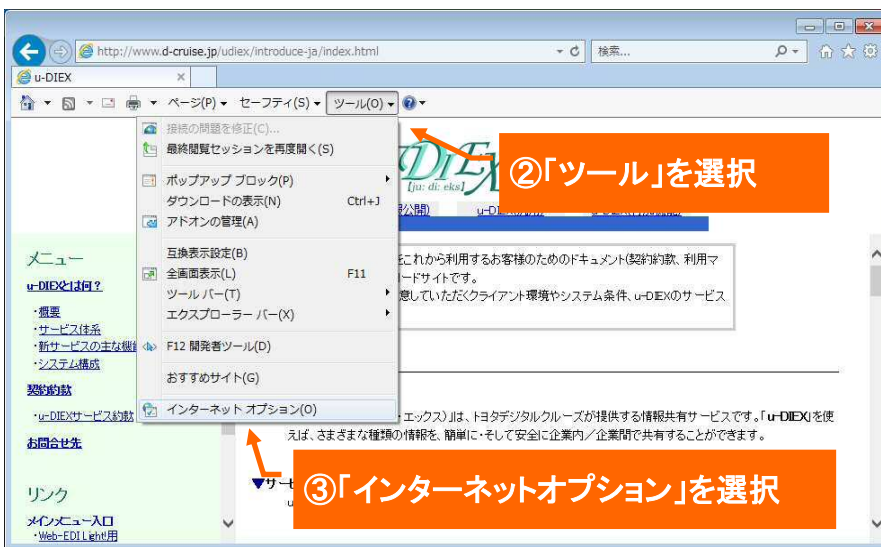
- ①「java.policy」を削除
- ②「java.policy.u-diex_bak」を「java.policy」に名前を変更

以上で、作業は完了です。

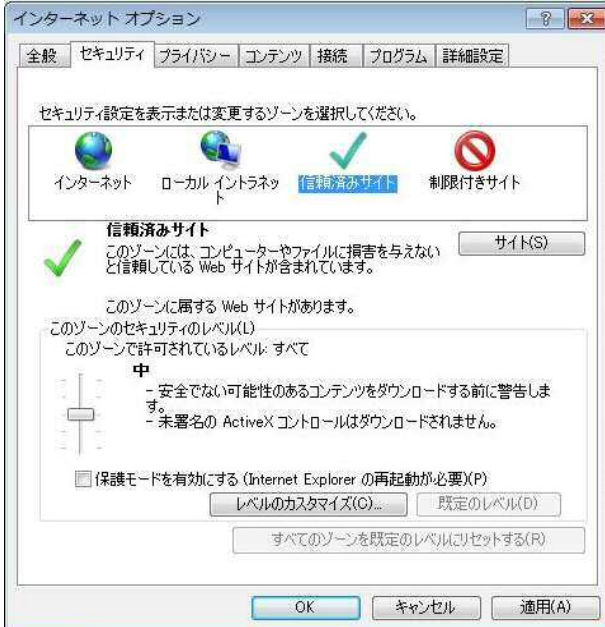
3. InternetExplorer設定変更 -「ATSC/TSC」を信頼済みサイトに登録-

- ATSC/TSC認証をする際に、InternetExplorerの設定が必要になります。
以下に、設定変更手順を記します。

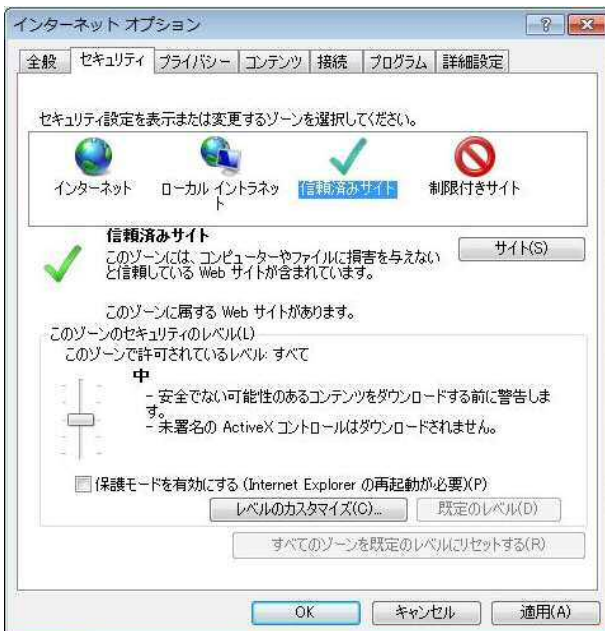
(1) 「インターネットオプション」画面を表示します



(2) 「信頼済みサイト」設定画面を表示します



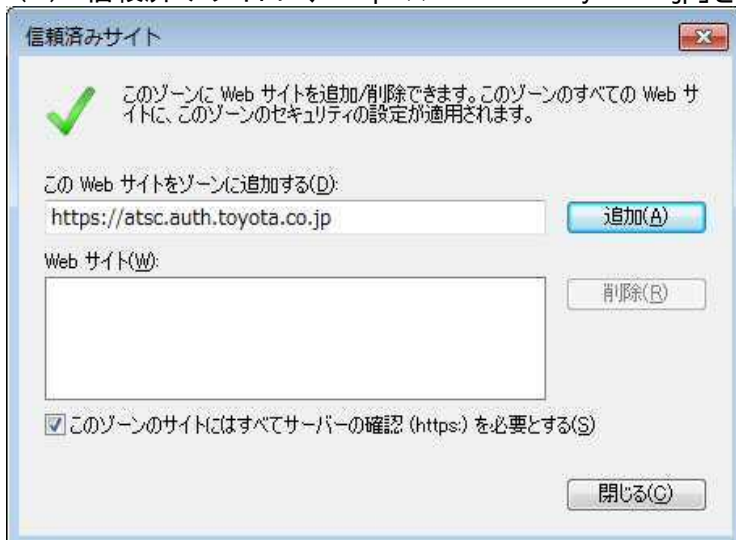
①「セキュリティ」タブを選択



②「信頼済みサイト」を選択

③「サイト」をクリック

(3) 信頼済みサイトに、「https://atsc.auth.toyota.co.jp」を登録します



①「https://atsc.auth.toyota.co.jp」を入力

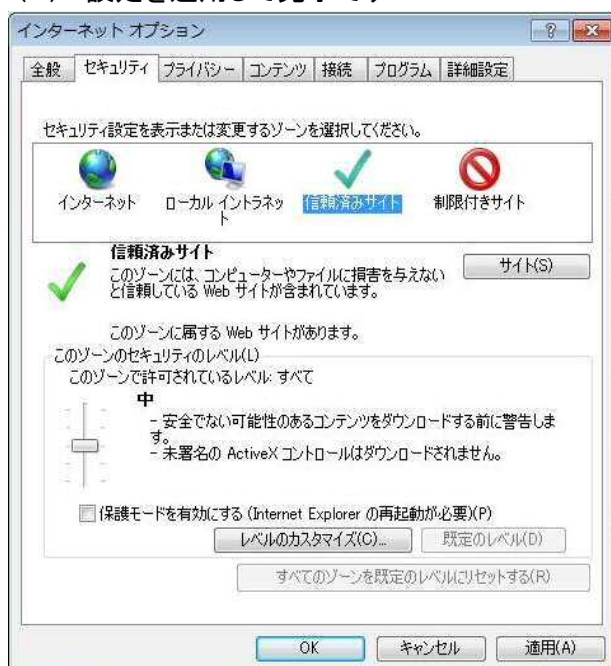
②「追加」をクリック



③「https://atssc.auth.toyota.co.jp」が登録されていることを確認

④「閉じる」をクリック

(4) 設定を適用して完了です



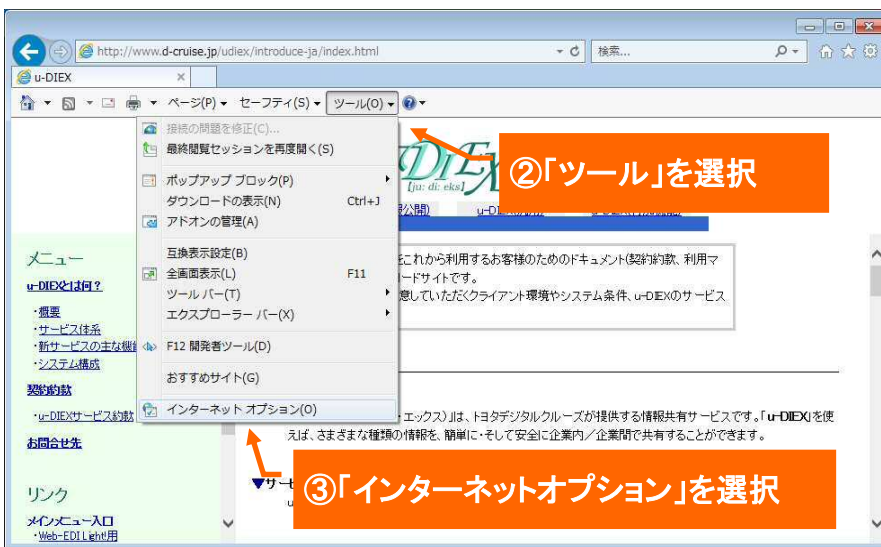
①「OK」をクリックし、設定を反映

以上で、作業は完了です。

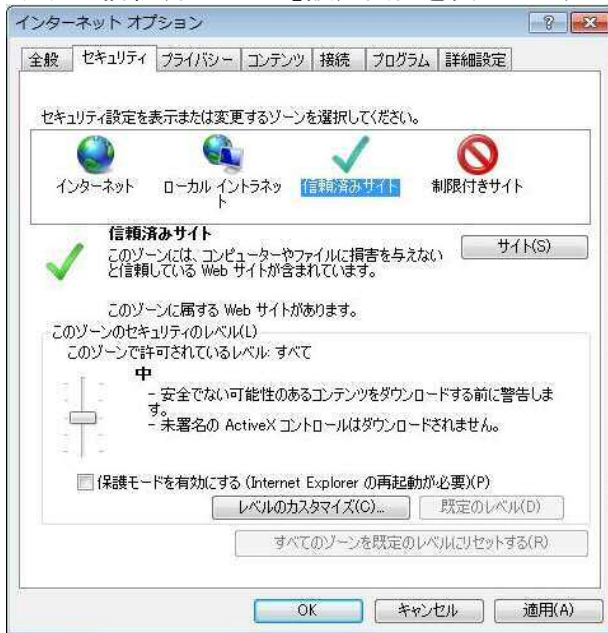
4. InternetExplorer設定変更 -「u-DIEX」を信頼済みサイトに登録-

- Web-EDI / Web-EDI Light!を利用するにあたって、InternetExplorerの設定が必要になります。以下に、設定変更手順を記します。

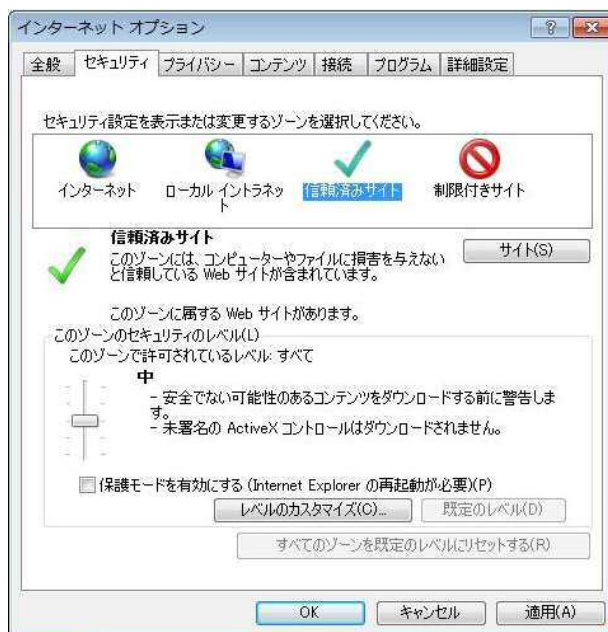
(1) 「インターネットオプション」画面を表示します



(2) 「信頼済みサイト」設定画面を表示します



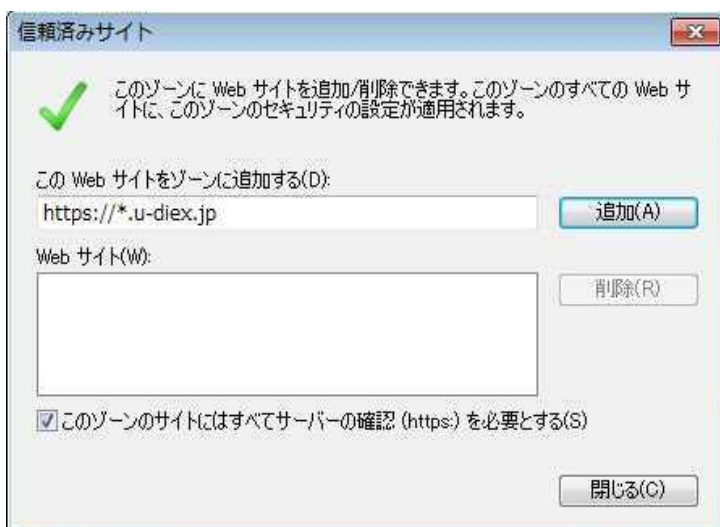
①「セキュリティ」タブを選択



②「信頼済みサイト」を選択

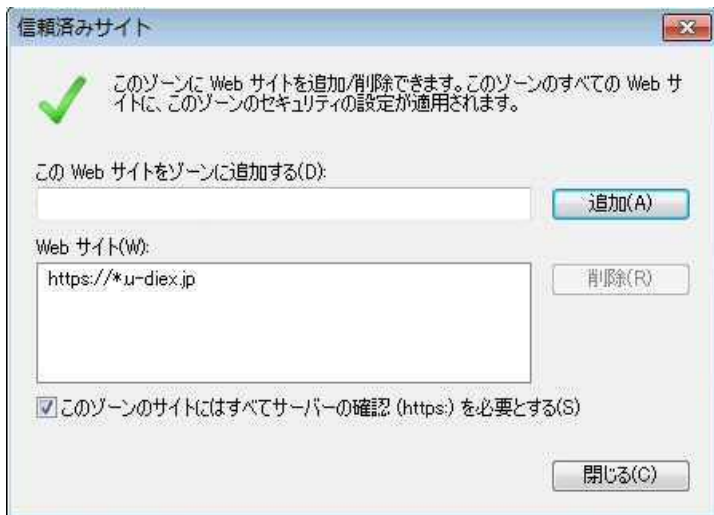
③「サイト」をクリック

(3) 信頼済みサイトに「https://*.u-diex.jp」を登録します



①「https://*.u-diex.jp」を入力

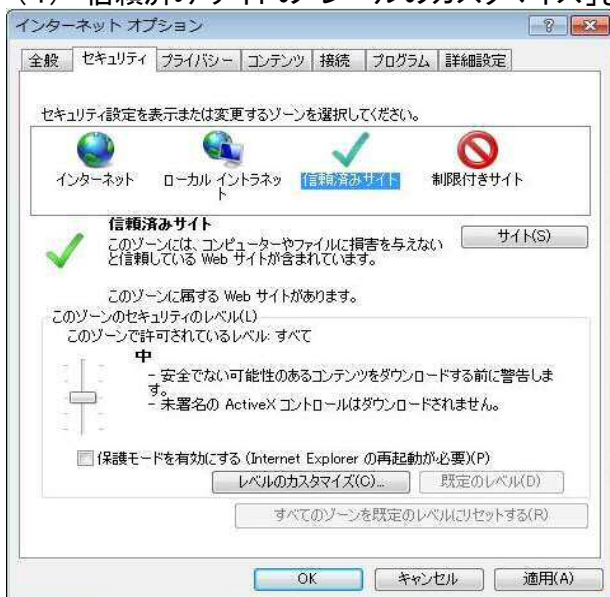
②「追加」をクリック



③「https://*.u-diex.jp」が登録されていることを確認

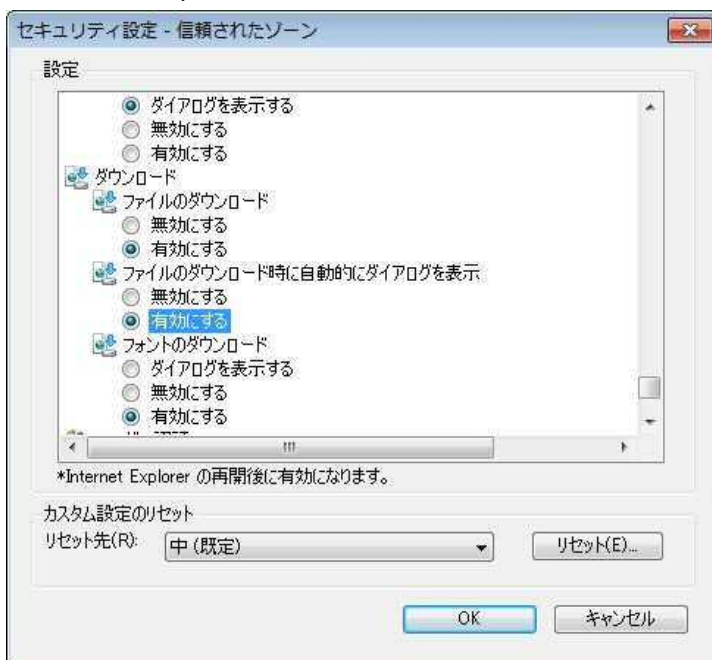
④「閉じる」をクリック

(4) 信頼済みサイトの「レベルのカスタマイズ」を行います



①「レベルのカスタマイズ」をクリック

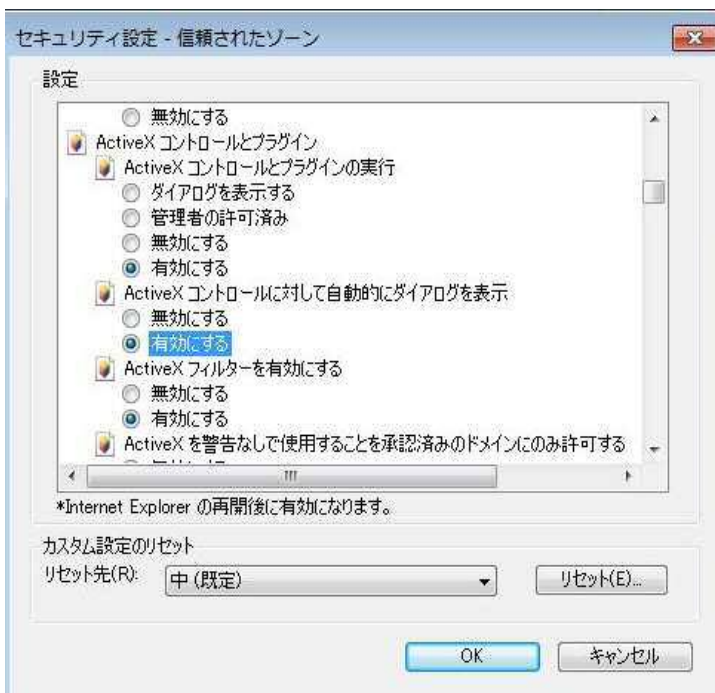
■ Internet Explorer 8 の場合



②「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」の設定値に「有効にする」を選択

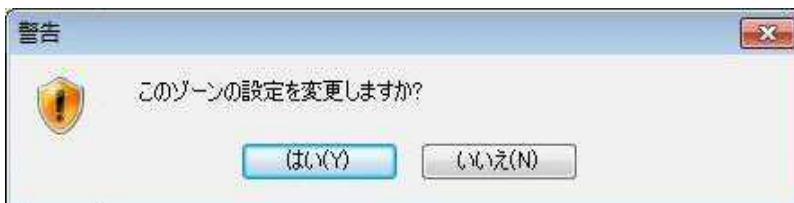
③「OK」をクリック

■ Internet Explorer 9 の場合

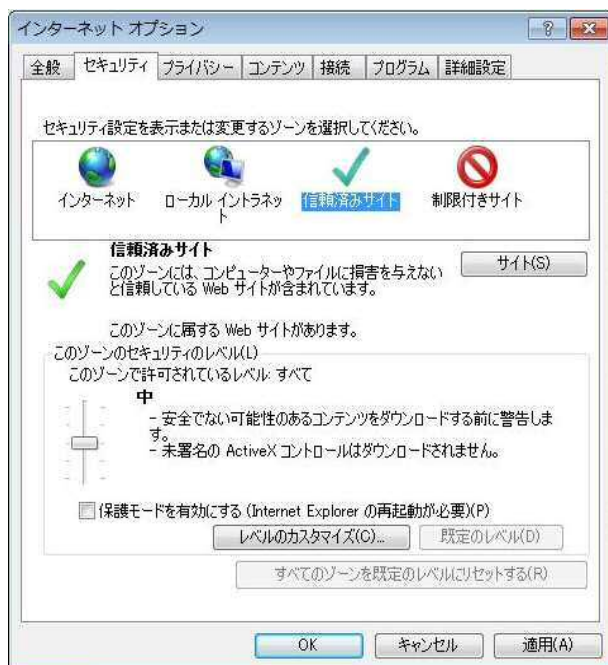


②「ActiveXコントロールに対して自動的にダイアログを表示」の設定値に「有効にする」を選択

③「OK」をクリック



④「はい」をクリック



⑤「OK」をクリックし、設定を反映

以上で、作業は完了です。